

第12回日本ジオパーク全国大会白山手取川大会参加レポート

NPO 法人洞爺湖有珠火山マイスターネットワーク

阿部 秀彦

2022年10月21日-23日の日程で行われた、日本ジオパーク全国大会白山手取川大会への参加と、白山手取川ジオパークの一部のジオサイト見学を行いました。

■10月20日

14:45発の全日空機で小松空港へ。途中で男鹿半島・大潟ジオパークの一ノ目潟、二ノ目潟、三ノ目潟、戸賀湾がくっきりと見えました。



■10月21日

午前8時宿泊先を出発。初めて訪れる地のためレンタカーを借り、時間の許す限り白山手取川ジオパークのジオサイト巡りを行った。

・手取川七ヶ用水

白山手取川ジオパーク「海と扇状地のエリア」にある手取川七ヶ用水です。時期的に水量は多くありませんでした。この水路は徐々に分かれていきながら、扇状地をくまなく潤していきます。



・鶴来の街並み

七ヶ用水同様「海と扇状地のエリア」にある白山市鶴来です。豊富な地下水を利用して、酒、醤油等の醸造業を中心として発展していったそうです。現在でも有名な酒造メーカーが酒造りを行っております。



・獅子吼

白山手取川手取川ジオパークのほとんどのエリアが一望できる獅子吼高原。スカイスポーツが盛んな場所でもあります。



※途中にジオパークが書かれた自動販売機を見つけました。売り上げの一部がジオパークのために使われているそうです。



・白山砂防科学館

普段は美しい姿だが、時には大自然の驚異を見せつける白山の自然や過去の災害、そしてその災害から地域を守っている砂防事業などを学べる施設です。平日だからなのか、我々以外のお客さんはいませんでした。



・百万貫の岩

昭和9年の水害時に約3キロメートルも流された大きな岩。石川県指定の天然記念物だそうです。昔から百万貫と言われていたが、のちに計測したところ高さ16メートル、重さは4839トン（129万貫）であったとのこと。名称通りだったことが証明されたそうです。



■10月22日

午前8時30分より、白山市松任文化会館ピーノにて開会セレモニーが始まりました。オープニングアトラクションは石川県指定無形民俗文化財である「かんこ踊」と白山市指定無形民俗文化財である「御酒（ごんしゅう）」でした。



続いて主催者、共催者、歓迎のあいさつそして来賓あいさつと続き、新しくJGNに認定された「十勝岳ジオパーク」「五島列島ジオパーク」「霧島ジオパーク」へ認定証が授与されました。



・基調講演

「恐竜化石から過去、現在と未来の地球を考える」のテーマで、国立科学博物館副館長である真鍋真氏による講演が行われた。恐竜の見分け方、白山で産出された足跡や化石恐竜から鳥への進化など、様々な話を分かりやすく話をしていただいた。



・パネルディスカッション

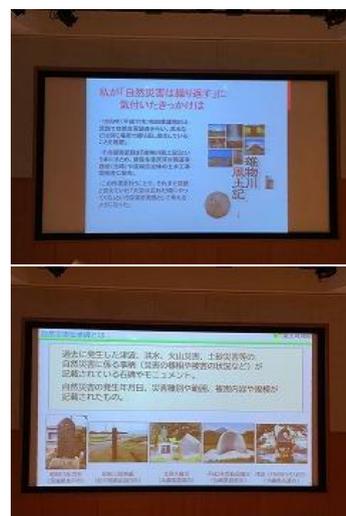
金沢大学の青木賢人氏をコーディネーターとし、基調講演の真鍋真氏を含めた5人のパネリストに、それぞれの専門分野を通し、大会テーマである「地球と旅する～白山手取川の地から地球と未来を考える」ということについて話を伺った。



・分科会

今回は第6分科会「自然災害伝承碑とジオパーク」に参加しました。洞爺湖有珠山ジオパークには該当するようなものはありませんが、考え方を学び、今後に関わることかと思申し込みをさせていただきました。

最初にあきた地域資源ネットワーク代表 笠啓記氏より自然災害伝承碑を考える～秋田県・東北からの報告ということで、米代川洪水調査や三陸の津波に関する話を



次に国土地理院応用地理部環境地理情報企画官 廣瀬勝氏より、全国の自然災害伝承碑の取り組みと活用について国土地理院の立場から実例を含めて話をいただきました。

その2つの話が終わった後、休憩をはさみ、各ジオパークからの実践報告です。報告したのは「男鹿半島・大瀧ジオパーク」「浅間山北麓ジオパーク」「箱根ジオパーク」「糸魚川ジオパーク」です。



各ジオパークからの報告とは別に、話として出てきて印象に残ったのは、宮崎県の「外所（とんどころ）」という場所では、過去に起きた災害を風化させないように「碑」を50年ごとに作り替えているということです。

・交流会

人が多く、ちょっと心配しましたが、会場もいくつかの分散して開催したため、問題なく全国各地のジオパーク関係者と交流を行うことができました。



※会場は違いますが、中身は同じのお弁当形式です

■10月23日

12:10 小松空港発の全日空機にて帰る必要があったため、千代女の里俳句館に立ち寄り、ポスター発表を見学。コアタイムの時間とは合わなかったのが残念でしたが、いくつかの地域で人がいらっしまったので、少し説明をいただきました。



○おわりに

なかなか普段、他のジオパーク地域と接点がないため、このような機会はとても大切なものです。今回はコロナ禍ということもあり、規制されたものが多くありましたが、それなりに充実した時間を過ごすことが出来ました。このような機会をいただけたことに感謝し、今後とも当ジオパークの発展に寄与していきたいと思えます。